

質問議員	石井 美季 議員		
大項目	市制施行50周年について		
小項目	市制施行50周年記念事業について		
質問者番号	08	質問項目番号	01～03
作成部課名	企画振興部 50周年事業室		

質 問 内 容

市制施行50周年の年になりました。
 メイン事業である記念式典、記念フォーラム開催に向けての計画、準備がすすめられながら、昨年よりたくさんの冠事業も実施されています。多忙な日常の業務と並行してこの事業を推進している実行委員会、各プロジェクトチーム、推進委員会の方々の労には敬意をもちたいと思っております。
 そしてさらに慶祝ムードを盛り上げ、市内外の人々へ恵庭市をよりアピールする絶好のチャンスを生かしていただきたいと思います。
 そこで、昨年の定例会に引き続き、お伺いいたします。
 ①事業のスケジュール・進捗状況についてお伺いします。
 ②冠事業についてお伺いします。
 ③各事業の周知、参加募集についてお伺いします

答 弁 内 容

市制施行50周年についてお答えいたします。
 はじめに、市制施行50周年記念事業のスケジュール等についてであります。推進体制である恵庭市制施行50周年記念事業実行委員会をはじめ、プロジェクトチームなど市民との協働により昨年末に市制施行50周年記念事業実施計画を策定したところであります。
 この実施計画では全体事業を3つに区分しており、「記念式典」、「記念事業」、「PR事業」で構成しております。
 特に、「記念事業」としての市制施行50周年の記念となるようなメモリアルな事業である「特別事業」は24事業を計画しており、その中でも7月11日・12日に開催予定である「記念フォーラム」は大きなイベントでもあり、計画的に準備を進めているところであります。他の事業実施に当たっても、関係機関等と連携を図りながら、一年を通して市制施行50周年に相応しい記念事業が展開できるよう努めて参りたいと考えております。
 次に、冠事業についてであります。実施計画では「記念事業」の中に「連携事業」として位置付けており、多様な主体との連携による冠名称を付して事業を実施することとしております。
 また、この連携事業を実施するに当たり、作成する印刷物等に市制施行50周年記念ロゴマークを表示するなど、多くの市民の方々と市制施行50周年を祝う気運を高めて記念事業を盛り上げて参ります。

答 弁 内 容

最後に、各事業の周知及び参加募集についてであります。市制施行50周年の各事業を効果的に実施するために、昭和45年からのまちづくりの歴史や、記念事業の内容を記載した記念パンフレットを作成し、本年5月に全戸配布することとしております。

また、各特別事業の個別実施に当たっても、市広報誌や市ホームページのほか、ポスター・チラシなどの広報媒体の活用や、コミュニティFM e-n i w a と連携を図るなど、市内外に向けての周知やPR事業を積極的に行い、多くの方々に記念事業に参加していただけるよう努めて参ります。

議会一般質問答弁書（甲）（2年1定）

質問議員	石井 美季 議員		
大項目	安心して子育てできるまちづくりについて		
小項目	小中学校における教育活動、環境について		
質問者番号	08	質問項目番号	04
作成部課名	教育部 教育総務課		

質 問 内 容

2020年度より小学校、2021年度より中学校の新しい学習指導要領がスタートします。また昨今は、教職員の働き方改革や、ICT機器の発展、コミュニティ・スクール開始などで、学童期の子どもたちをとりまく環境はめまぐるしく変化していると思われまます。

子どもたちの多感なこの時期のすごし方は、将来の生き方に大きな影響があり、大変重要と考えまます。本市の小中学校における新学習指導要領スタート等に伴う変化の対応と課題、展望についてお伺いいたします。

答 弁 内 容

小中学校における新学習指導要領スタート等に伴う変化の対応と課題、展望についてお答えいたします。

新しい学習指導要領は、これまで大切にされてきた、子どもたちに「生きる力」を育むという目標は、これからも変わることはなく、一方で、社会の変化を見据え、新たな学びと進化を目指すものとなっております。子どもたちに「生きる力」を育むために「主体的・対話的で深い学び」の視点から「何を学ぶか」だけでなく「どのように学ぶか」も重視して授業を改善していくこととなっております。特に小学校においては、3・4年生で外国語活動、5・6年生で教科としての外国語に新たに取組むことや、コンピューターがプログラムによって動き、社会で活用されることを体験し学習するプログラミング教育等に新たに取組むこととされております。

これまで2年間の移行期間中は、授業時数の確保や教員の指導力の向上を目的に、研修の実施や指導資料の提供などに取組んで参りました。

今後は、これまでの教育実践の蓄積を引継ぎつつ、授業を実践する中で工夫改善に取組んで参りたいと考えております。

質問議員	石井 美季 議員		
大項目	芸術文化の香り高いまちづくりについて		
小項目	芸術文化関連施設のありかたについて		
質問者番号	08	質問項目番号	05～07
作成部課名	教育部 教育施設課		

質 問 内 容

本市には、様々な公共施設があり、専用ではなくとも芸術文化作品の展示、演示ができる場所がいくつかあります。しかしその利用のされ方は少ないと感じています。市民のこころの豊かさの醸成と文化芸術振興に寄与することを目的とした事業をもっと行い、利用しやすい環境を整え、様々な立場で大勢の人に足を運んでもらうことが必要と考えます。

そこで次についてお伺いいたします。

- ① 芸術文化関連施設の利用状況についてお伺いします。
- ② 現在行っている自主文化事業の現状と課題、展望についてお伺いします。
- ③ 芸術文化関連施設の利用のしやすさに関する課題についてお伺いします。

答 弁 内 容

芸術文化関連施設のありかたについてお答えいたします。

本市の芸術文化関連施設の代表的施設として、市民会館が整備されており、市民の芸術文化活動の中心施設として利用されてきたところであります。

市民会館における前年度の利用状況のうち、展示につきましては、市民文化祭、恵美展、アートバンクの新作展示会、書道展、小中学校の作品展などが展示室や中ホール、大会議室、中会議室などにおいて実施されているところであります。

また、演示といわれる音楽発表、演劇、ダンス等の前年度の利用状況としましては、大ホールが25件、中ホールが15件の利用となっています。

次に、自主文化事業の現状と課題、展望についてですが、市民会館の指定管理者である恵庭リサーチ・ビジネスパーク株式会社が主催する自主文化事業は、様々な文化事業を展開することで、幅広い年齢層や多様な趣味を持つ市民に対して文化芸術に親しんでもらう事を目的としているところであります。

前年度は、二つの事業を開催し、合計917名の参加をいただいたところでありますが、更なる利用者の増加が課題であり、今後の展望として、市民ニーズを把握し、魅力ある新たな事業を企画することが必要と考えております。

次に、施設の利用しやすさに関する課題としては、老朽化している展示パネルやテーブル、イス等の備品の更新を計画的に行う事や、施設の利用促進に向け利用者が必要とする、施設利用における詳細情報等の充実について、検討する必要があると考えております。

質問議員	長谷 文子 議員		
大項目	子育て施策の充実について		
小項目	えにわっこ☆すこやかプランについて		
質問者番号	09	質問項目番号	01
作成部課名	子ども未来部 子ども家庭課		

質 問 内 容

第1期「えにわっこ☆すこやかプラン」は、実態調査を基に策定した六つの基本目標を柱に据え、基本理念として「子育てのまちえにわ」の下、97に及ぶ実践項目を盛り込み「かかわり」・「つながり」・「ひろがり」を大切にして事業を進めてきました。

令和2年度から、第2期「えにわっこ☆すこやかプラン」がスタートしますが、第1期事業の検証に基づく課題と今後の展望について伺います。

答 弁 内 容

えにわっこ☆すこやかプランについてについてお答えいたします。

はじめに、第1期事業の検証に基づく課題についてですが、現行のえにわっこ☆すこやかプランでは、教育・保育の提供体制確保や保育園等の入所要件拡大、学童クラブの開設時間及び学年の拡大、子どもの集う場所の整備など、子育て支援や子育てのための環境整備を行い、子どもの健やかな育ちにつながるよう、それぞれの施策の推進を図って参りました。

近年、女性の就業率の上昇に伴う保育ニーズは年々増加しており、特に0歳から2歳児の待機児童及び潜在待機児童の発生や、保護者の就労形態に応じた多様な保育サービスに対応する保育士等人材確保などの体制整備のほか、障がいや児童虐待・貧困など配慮を必要とする子どもや家庭への、早期からの支援の必要性などが課題であると認識しております。

次に、本プランにおける今後の展望についてですが、子育て支援や子育てのための環境整備を継続して行うとともに、子育てと仕事の両立支援に努め、幼児教育の無償化や働き方改革など、社会環境の変化への対応や、子どもを取り巻く貧困や虐待への対処など、妊娠・出産から子育てまで切れ目のない支援体制を整え、全ての子どもと家庭が安心して、子育てできる環境づくりを推進して参りたいと考えております。

質問議員	長谷 文子 議員		
大項目	高齢者の健康増進・生きがづくりについて		
小項目	1. 高齢者の健康増進について		
質問者番号	09	質問項目番号	02
作成部課名	保健福祉部 介護福祉課		

質 問 内 容

恵庭市では行政の創意に富んだ施策や、高齢者自身の健康意識の高まりによって、介護認定率が全道一低いまちになっていると認識しておりますが、このことについては大変喜ばしく思うところです。そこで、今後ますます需要が高まる高齢者の健康増進事業をどのように継続・発展させていくことが望ましいと考えているのか伺います。

答 弁 内 容

高齢者の健康増進についてお答えいたします。

はじめに、高齢者の健康増進事業の継続及び発展についてですが、本市の要介護認定率は平成29年9月より全道35市の中で最も低くなっており、令和2年1月末現在で14.9パーセントとなっております。

現在、本市で実施しております高齢者の健康増進及び一般介護予防事業としましては、老人福祉スポーツ大会、老人健康ハイキング等があり、介護予防把握事業として、70歳健康チェック訪問、健康状態不明者への訪問支援等による高齢者の健康状態の把握に努めるほか、高齢者健康づくり支援事業として、高齢者健康づくり教室、介護予防講演会、老人クラブ等健康教育を実施し、高齢者の健康づくりや介護予防の啓発を行っております。また、介護予防地域リーダー支援事業として、いきいき百歳体操サポーター養成講座、いきいき百歳体操サポーター交流会、更には地域支えあい地域づくり事業や高齢者健康増進助成券の交付等により通いの場の提供などを実施しているところであります。

今後も地域包括支援センターなど関係機関と連携しながら高齢者のニーズ等を的確に把握するとともに、高齢者の健康増進や介護予防事業が更に充実したものになるよう適宜協議、検討して参ります。

議会一般質問答弁書（甲）（2年1定）

質問議員	長谷 文子 議員		
大項目	高齢者の健康増進・生きがづくりについて		
小項目	2. 高齢者の生きがづくりについて		
質問者番号	09	質問項目番号	03
作成部課名	保健福祉部 介護福祉課		

質 問 内 容

高齢者が生きがいを持って、心身共に充実した生活を送ることができるように、有効な支援策を講じることが、行政が担う大きな責務であると考えます。

ひと口に生きがいと言っても、趣味を生かした活動や家族を中心に地域の人々との交流、さらに、好きなこと、得意なことを生かした生産的な活動など、多岐にわたっております。

このため、行政の役割は活動の場の提供や組織づくり、また、活動のための資金的な支援などが考えられます。

原田市政は、これまで3駅を中心とした地域コミュニティづくりを重要施策として、行政運営に取り組んでこられました。

そこで、高齢者の生きがづくりも地域コミュニティづくりの大きな枠組みの中で推進していくべきと考えますが、ご所見を伺います。

答 弁 内 容

次に、高齢者の生きがづくりの推進についてですが、高齢者の生きがいは多種多様化、また多岐に渡っているものと、本市としても認識しているところであります。

これまでに地域コミュニティ内での生きがづくりの場や機会の提供として、老人クラブ活動支援や「いきいき百歳体操」等のサロン活動の支援、更には介護予防ボランティアポイント制度の活動などの様々な施策を実施してきたところであります。

今後も高齢者を含む地域コミュニティづくりに関する本市の役割について、生活支援コーディネーターや恵庭市老人クラブ連合会など関係機関と充分連携しながら、高齢者のニーズ等を把握した上で協議、検討して参ります。

議会一般質問答弁書（甲）（2年1定）

質問議員	生本 富士代 議員		
大項目	教育行政について		
小項目	教育相談について		
質問者番号	10	質問項目番号	01
作成部課名	教育部 教育支援課		

質 問 内 容

教育相談の現状と、対応についてお伺い致します。

答 弁 内 容

教育相談の現状と対応についてお答えいたします。

教育に関する相談件数は増加の傾向を示しており、スクールカウンセラーの相談件数では、平成29年度で1,499件に対し、平成30年度では1,806件。スクールソーシャルワーカーの支援件数は平成29年度で231件に対し、平成30年度では235件となっております。

対応についてであります。スクールカウンセラーについては増加する相談件数に対応するために必要な時間数を確保するため、予算を増額するほか、スクールソーシャルワーカーについては平成28年度にそれまでの1名から2名に増員し体制の拡充を実施したところであります。

議会一般質問答弁書（甲）（2年1定）

質問議員	生本 富士代 議員		
大項目	教育行政について		
小項目	スクールバスの現状と今後の方向性について		
質問者番号	10	質問項目番号	02・03
作成部課名	教育部 教育総務課		

質 問 内 容

市内のスクールバスの現状について、お伺いします。(特に松恵小学校について)
市外の特別支援学校へ通う児童への支援体制について、現状と今後の対応について、お伺い致します。

答 弁 内 容

スクールバスの現状と今後の方向性についてお答えいたします。

はじめに、市内のスクールバスの現状についてですが、今年度のスクールバスは、市所有の中型バス3台のほか、大型バス2台、小型バス3台の合計8台で運行しています。自立通学が難しい特別支援学級の児童生徒や通学距離の長い児童生徒など299名を対象に登下校の支援を行っているところです。

また、松恵小学校については40名の利用児童を対象に、市所有の中型バスで登下校時にピストン運行を行っているところであります。

次に、市外の特別支援学校へ通う児童への支援に関する現状と今後の対応についてですが、現在のところ市外への通学に関してスクールバスの運行は行っておりません。今後につきましても、市内の小中学校への通学に利用する児童生徒を対象としたスクールバスの運行を行っていくことで考えております。なお、障害のある児童の通学に係る支援について、障害者総合支援法に基づく地域生活支援事業の屋外での移動が困難な障がい児等の外出のための支援を行う「移動支援事業」において、保護者にやむを得ない事情がある場合に利用を認めており、現在4名の方が、通学支援を申立て、自宅から学校、スクールバス停までの送迎をしていると承知しております。

議会一般質問答弁書（甲）（2年1定）

質問議員	生本 富士代 議員		
大項目	教育行政について		
小項目	CAP及び、薬物乱用防止教室について		
質問者番号	10	質問項目番号	04
作成部課名	教育部 教育支援課		

質 問 内 容

CAP及び、薬物乱用防止教育の現状と、今後の取り組みについて、お伺い致します。

答 弁 内 容

CAP及び薬物乱用防止教育の現状と、今後の取組についてお答えいたします。

CAP教育プログラムについてですが、本年度小学校全校と柏陽中学校で、また、薬物乱用防止教室については、千歳警察署等関係機関の協力を得ながら小中学校全校で実施しております。

次に、今後の取組についてですが、CAP教育プログラムは、小学校全校と希望する中学校で引続き実施してまいります。また、薬物乱用防止教室については、学校の教育活動を通じて計画的に行うよう各小中学校に指導して参ります。

議会一般質問答弁書（甲）（2年1定）

質問議員	松島 緑 議員		
大項目	一般行政について		
小項目	防音工事について		
質問者番号	11	質問項目番号	01
作成部課名	総務部 基地・防災課		

質 問 内 容

防音工事の現状についてお伺いします。
また、対象地域の拡大について、今後の方向性をお伺いします。

答 弁 内 容

防音工事についてお答えいたします。

はじめに、住宅防音工事の現状についてですが、自衛隊の演習等では戦車などによる砲撃音騒音による障害が発生しますが、国は、騒音測定に基づき指定区域を定め、その区域内において行う住宅の防音工事に対して補助金を交付し、音響による障害の防止又は軽減措置を講じているところであります。

現在の指定区域は、平成24年度に指定されたものでありますが、対象戸数は4,100戸となっており、順次、防音工事による障害防止等が進められております。工事の進捗につきましては、ここ数年間の工事件数は毎年約70世帯程度となっており、申込みしてから着工に至っていない待機世帯は、平成30年度末で約1,500世帯となっており、解消が進まない状況にありました。

しかしながら、令和元年度は国の予算が大幅に増額され、北海道防衛局に今年度の進捗状況を確認したところ、上半期で既に100世帯を超える防音工事が進められており、この時点で待機世帯は約1,300世帯となり、下半期の進捗によっては待機世帯の解消が更に進むものと期待しているところであります。

次に、対象地域の拡大についてであります。対象地域は騒音測定の結果に基づき、国が定めておりますことから、市として国に対し指定区域から外れた演習場周辺地域の騒音測定調査の実施を要望しているところであり、今後も継続して要望して参ります。

議会一般質問答弁書（甲）（2年1定）

質問議員	松島 緑 議員		
大項目	建設行政について		
小項目	公園について		
質問者番号	1 1	質問項目番号	0 2
作成部課名	建設部 管理課		

質 問 内 容

公園の維持管理の状況についてお伺いします。
また、公園の利活用の促進の取り組みについてお伺いします。

答 弁 内 容

公園についてお答えいたします。

はじめに、公園の維持管理の状況についてですが、公園については、指定管理者により、ベンチやトイレなどの公園施設の日常点検、除草、樹木の生育調査や剪定、また遊具についても有資格者による健全度調査を実施するなど、公園が安全に利用できるよう維持管理を行っているところであります。

市におきましては、遊具やトイレなどの公園施設の老朽化が進んでいることから、公園施設長寿命化計画を策定し、その改修及び修繕に取り組んでいるところであります。

次に、公園の利活用の促進についてですが、取組としては、指定管理者においてガーデニング講座や恵庭ふるさと公園のハーブガーデン再生事業等を自主事業として実施しております。

また、市におきましては、恵庭ふるさと公園の再整備にあたり、市民の方々とのワークショップの結果を踏まえ、地域との連携や賑わいの創出を図るとともに、パークPFIを活用したカフェなど便益施設の整備により、更なる利活用の促進に向けた検討を進めているところであります。

議会一般質問答弁書（甲）（2年1定）

質問議員	松島 緑 議員		
大項目	子育て行政について		
小項目	子育て支援の充実について		
質問者番号	1 1	質問項目番号	0 3
作成部課名	保健福祉部 保健課		

質 問 内 容

妊産婦、子育て世代の相談状況についてお伺いします。
また、今後の相談体制の充実強化の取り組みについてお伺いします。

答 弁 内 容

子育て支援の充実についてお答えいたします。

はじめに、妊産婦、子育て世代の相談状況についてですが、令和元年10月1日より「えにあす」において、子育て世代包括支援センター「C o c o n e t えにわ」として、母子保健コーディネーター1名を専任として配置し、妊娠、出産、子育ての切れ目ない相談体制を充実させるため、新たな相談窓口を開設したところです。

母子健康手帳交付時には、全ての妊婦を対象に、新規事業として子育て支援サービスやスケジュールを1冊にまとめたサポートファイルを活用し、妊娠期から子育て期に渡る支援の強化を図るための、妊娠期応援プランを作成しております。さらに、乳幼児健診時にも幼児期応援プランをお渡しし、保護者と一緒に必要なサービスなどについて確認しております。

次に今後の相談体制の充実強化の取組についてですが、令和2年度においては、子ども及び保護者が幼稚園や認定こども園などの教育・保育施設や子育て支援事業を円滑に利用できるよう、情報提供や相談を行う子育て支援員1名を配置し、子育て世代包括支援センター「C o c o n e t えにわ」における相談体制の充実強化を図って参ります。